水素ステーション久留米の予約方法

充填予約：パソコン・スマートフォンから
予約アプリにて受け付けます。

福岡酸素 水素ステーション

予約期限：充填予定日の前日までにご予約ください。
お支払方法：クレジットカードのみとなります。（VISA、JCB等）
価格：1,320円/kg（税込）

アプリでご予約いただけますとスムーズに充填できます。

※お電話でもご予約いただけます。

QRコード

水素ガス充填の流れ

① ご予約

② 受付

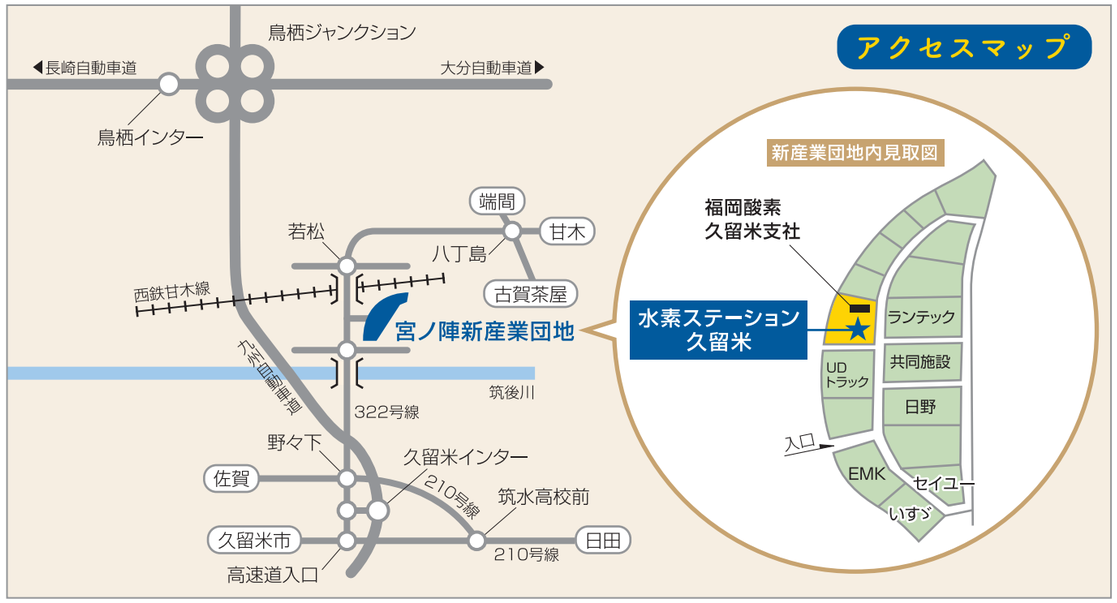
③ 水素ステーション久留米

④ お支払い

⑤ 充填開始

⑥ 充填

アクセスマップ



水素ステーション久留米

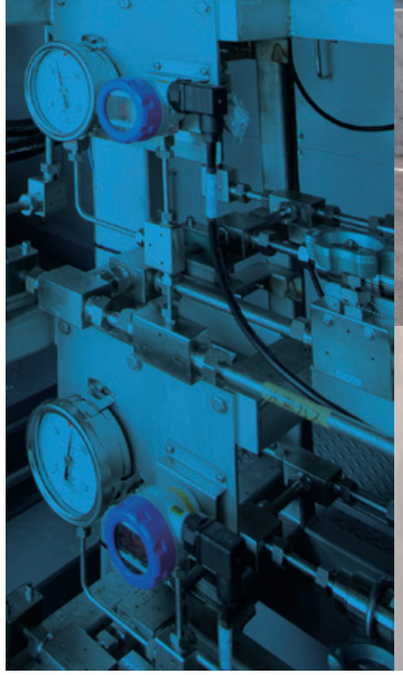
住所：〒839-0804 福岡県久留米市宮ノ陣町若松1-7　電話：0942-55-8996
営業日・時間：平日9:30～16:30 日曜日9:30～15:00　定休日：土曜日・祝日
※メンテナンス等で充填出来ない場合もございます。予約時にご確認ください。

共同事業者：日本水素ステーションネットワーク合同会社

水素エネルギーで
持続可能な
社会の実現へ

水素ステーション久留米

HYDROGEN STATION KURUME



福岡酸素株式会社
FUKUOKA OXYGEN CO.,LTD. since 1919

待望の福岡県南部に「水素ステーション久留米」誕生！

本ステーションは久留米ICの近くに立地しており、九州自動車道や
長崎自動車道・大分自動車道を経由して九州各地へのアクセスも良く大変便利です。

停電時の非常用電源として医療機関でも注目されています。

近年、各地で自然災害による大規模な停電や断水が起こり、改めて災害時のBPC対策が重要視されています。燃料電池自動車（FCV）は、移動可能な電源として外部に給電でき、一般家庭の消費電力量の約6日分を賄うことが可能です。また、小学校体育館などの指定避難所や小規模医療機関等での停電時活用も期待されています。

水素ステーション久留米の仕組み

水素ステーション久留米は、
施設外で精製された水素をステーションに
運搬し貯蔵する「オフサイト方式」を採用しています。

2 ディスペンサ

水素を車両に供給するためのノズルを備えたディスペンサ。約82MPaで蓄圧器に貯蔵した水素ガスは、ディスペンサで最適な充填条件に整えられ、ノズルを通してFCVへ充填されます。セルフ式のガソリンスタンドと同様に、カードリーダーにクレジットカードを読み込ませ、POSシステムにて承認が得られるとFCVへの充填が可能になります。

Point

敷地面積344㎡。
国内最小面積の水素ステーション。

省スペースを実現し、電気使用量の削減に繋げました。国のアクションプランに基づいて建設。建設費・運営の両面から見ても注目される効率的な水素ステーションです。

1 水素の製造・運搬・貯蔵

原料である水素は、関係会社の株式会社大牟田高圧ガスセンターで製造。
水素を精製し、圧縮充填したカードルは、チャーター車で安全に水素ステーション久留米に搬送し、蓄圧器へ貯蔵します。

3 安心の運営サポート体制

遠隔監視システムにより設備状態を確認する事ができ、万が一の機械トラブル発生時には迅速な対応が可能です。
高圧ガス製造有資格者を多数保有し、有識者複数体制での営業を行います。水素ステーション久留米は、「セルフ充填」に対応した設備でもあり、将来的には完全なセルフ充填施設として運営することも視野に入れています。

福岡酸素は、水素ステーションの施工のみならず、メンテナンスやアフターフォローまで一貫したサポートを行います。

次世代の水素エネルギー

▶環境にやさしいエネルギー

水素エネルギーは利用時にCO_2（二酸化炭素）を排出しないことから、地球温暖化対策の切り札として期待されています。現在は水素を作る段階でCO_2が発生しますが、FCVの効率が良く、現時点でも全体的なCO_2の排出量はガソリン車よりも少ないといえます。

▶水素製造過程でもCO_2ゼロを目指して

全国各地において再生可能エネルギーからの水素の製造を目指した調査が行われています。これが実現すると水素製造の段階からカーボンフリーとなり、FCVの普及に大きく寄与すると考えられています。

▶エネルギーの多様化

エネルギー資源の少ない日本では、エネルギーを海外から輸入しなければ日常生活も経済活動も成り立ちません。水素は多様な一次エネルギーから製造することが可能です。水素エネルギーが普及することで日本のエネルギーの多様化に貢献することが期待されています。

水素ステーション久留米の仕様概要

水素供給	オフサイト方式（水素カードル）
供給能力	150Nm3/hr（1時間当たりFCV3台満充填可能）
充填圧力	82MPa